

医療レポート  
特別対談  
No. 5

取材協力／海老名総合病院

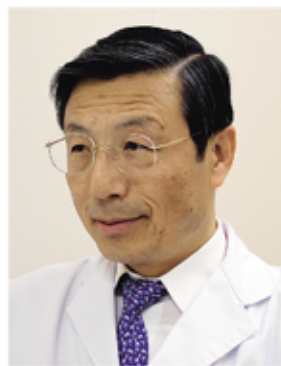
循環器内科 田邊晃久顧問×心臓血管外科 小原邦義顧問

# 心臓血管センターの役割

モットーは「昼夜、断らない」

循環器内科と心臓血管外科で構成され、互いに緊密な連携のもと、一つのチームとなって診療にあたる海老名総合病院の「心臓血管センター」。今回は昨年4月から同センターの顧問に就任した田邊晃久、小原邦義両顧問にセンターの取り組みや今後について聞いた。

## チーム医療で命を救う



心臓血管外科 小原邦義 顧問  
■東京女子医大心臓外科、国立循環器病センター  
聖路加国際病院、北里大学を歴任  
専門は冠動脈疾患や弁膜症大動脈疾患など

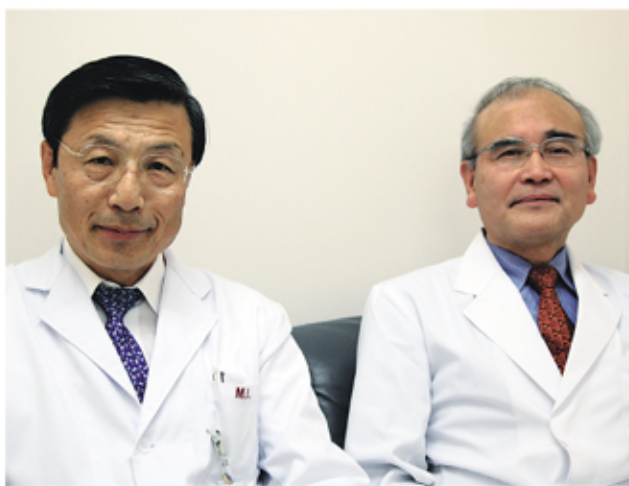
「連携とはどういうものか具体的に教えてください。」  
田邊 当院は、海老名市、綾瀬市、座間市など県地域の地域支援病院として非常に多くの救急搬送患者さんの受け入れをしております。そのなかで当院ではいつでも救急患者さんを受け入れ「断らない」医療に努めています。場合によっては大学病院で扱うような3次救急も受け入れ態勢を整えています。もちろん受け入れるための設備や医療技術があるからです。

「高齡化に伴い心臓疾患患者が増えていると聞きます。」  
小原 昨年1年間に心臓血管外科では222例の手術を行っています。そのうち胸部、腹部大動脈手術はそれぞれ昨年よりも増えています。大動脈疾患は難しい技術が必要とするため手術は「行わない」もしくは「できない」ところが多いのが実情ですが、当院では積極的に受け入れ手術を行っております。冠動脈バイパス手術では人工心臓を使わない手術を行います。これは術後の回復が早く、高齢者に負担が少なく有効です。昨年は100%人工心臓を使わずに冠動脈バイパス手術を行いました。

田邊 循環器内科は8人の医師がおります。心筋梗塞、狭心症、不整脈、心不全、高血圧、心筋症などが主な治療対象です。急性心筋梗塞など危険性の高い患者さんはいつでも受け入れ、カテーテルを使い冠動脈の閉塞や狭窄を広げる治療を行います。カテーテル治療数は月に30例を超え、症例数の多さと技術力の高さを自負しています。重症不整脈

「重症不整脈に対してはペースメーカーや埋め込み型除細動器の植え込み、心筋焼灼術などの先端治療を行っています。」  
小原 心臓血管外科は小原 冠動脈疾患、弁膜症、先天性心疾患などのほかに大動脈瘤や急性大動脈解離の手術などを得意分野としています。冠動脈疾患は循環器内科との連携のもと、重症例の手術を行います。また急性期対応病院として心臓血管疾患の緊急手術、再手術、ハイリスクの高齢者などの手術にも積極的に取り組んでいます。当センターは急性期患者さんが対象であることが多く、「少しの診療の遅れ」が重大結果を招きます。私たちは「どんな場合でも断らず最高かつ安全な医療提供」をモットーに、日々患者さんに向き合っています。

「読者にメッセージを。」  
田邊、小原 当センターは今後も周辺地域の皆様が安心して暮らすために必要とされる最先端医療の提供をめざし、広く貢献できるよう努力してまいります。



田邊 当院は大学病院と比べ規模が小さい分小回りがききます。そして心臓血管外科と循環器内科が境界を持たずひとつになって一人



循環器内科 田邊晃久 顧問  
■前東海大学循環器内科教授  
■国際ホリター・ノンインベシブ学会理事  
■日本循環器学会、不整脈学会評議員

JAPAN MEDICAL ALLIANCE  
社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス

# 海老名総合病院

コールセンター(予約専用)  
☎046(234)6529 www.jinai.jp  
海老名市河原口1320  
平日 8:30~17:00 / 土 8:30~12:00

